

平成24年度 夢ある 心ある 力ある 湊山小学校 アクティブプラン

神戸市教育の努力目標 : 心豊かに たくましく生きる人間の育成

特色ある学校づくり

人は人によって人になる

社会の変化への対応

めざす学校の姿

教育目標

めざす教師の姿

- ・「アツイ=ホットな学校」
子どもに熱く関わり、ほっとできる居場所のある、子どもにとって居心地の良い学校
- ・「子どものためにある」学校
- ・安全・安心・安定した学校
- ・小規模校のメリットを生かした魅力あふれる学校
- ・すべての子どもの学びと育ちをより充実させる学校
- ・子どもと教職員が共に育つ学校
- ・PTA、地域と共に歩む学校

やる気 いっぱい
やさしさ いっぱい
元気 いっぱい

めざす子どもの姿

- “強く生きていく力”を身につけた子
- ・自信を持って全力で取り組み、最後までがんばる子
- ・自分の思いや考えを表現できる子
- ・自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる子
- ・確かな学力を身につけた子

- ・「教職員全員で全児童を育てる」という気概を持った教師
- ・自己変革への努力を惜しまない教師
- ・教職員同士が、一致団結の信頼関係で結ばれ、常に研鑽する教師
- ・教えるプロとして、資質・指導力の向上をめざす教師
- ・アツイ教師
子どもに熱くホットな気持ちで関わる教師。
重なり合い、つながり、層の厚い教職員集団。

分かる授業・楽しい学校

【三つの「いっぱい」】

① やる気いっぱい

- ・自尊感情を高める
- ・個に応じた指導の充実
- ・学力向上に焦点化した授業改善

② やさしさいっぱい

- ・仲間づくり、学級集団づくり
- ・高め合う集団の育成
- ・自他ともに全ての命あるものを大切にいとおしむ心の育成
- ・コミュニケーション能力の育成

③ 元気いっぱい

- ・基本的生活習慣の確立
- ・体力向上への日常的な取組の推進
- ・あいさつ運動の推進
- ・規範意識の徹底

情報発信する学校

【PDCAサイクルによる学校評価】

- ① 学校だより・学年だより・ホームページの充実
・学校情報の積極的な発信
- ② 学校自己評価の推進
・全教職員による学校自己評価の推進
- ③ 学校関係者評価・外部評価の推進
・アンケートによる児童・保護者・地域からの評価
- ④ 学校評議員制度の積極的活用
・学校評議員による学校評価
・評議員の意見を反映させる学校運営

家庭・地域・学校の連携

【小規模校ならではの連携】

- ① 家庭・地域と連携した基本的生活習慣の確立
・家庭への啓発活動
・近隣校間の連携
・「学校の学び」と「家庭の学び」をつなぐ家庭学習の推進
↓
自尊感情を高め、自己成長力を高める
- ② 保護者とつくる教育内容
・ふれあい活動
・ブックママ
・保護者の学習支援活動
・ゲストティーチャー等外部人材の積極的な活用
- ③ 安全・安心の学校づくり
・地域諸団体との連携
・登下校の見守り活動
・継続的な集団登校指導

教育・学習環境の改善

【学校の組織力

教員の力量を高める】

- ① 全教職員で組織的に全児童を指導
・児童理解に基づく指導体制 (LTC)
・隣接学年での打ち合わせ
・全職員相互の協働体制
- ② 授業力・学級経営力の向上
・全員授業による研修の充実
・外部講師の招聘

学年づくりの指標		地域に根ざした集団づくり
1年	やさしく なかよく つよく	○集団登校の実施 (なかよしグループの組織) 安全な登校 地域で育つ仲間づくり ○異年齢集団でのふれあい活動 (ゆうゆうグループの組織) 木曜日のゆうゆうタイム 兄弟学年での活動 集会活動
2年	まわりの人に優しく、友だちとすすんで協力し合う子	
3年	互いの良さや違いを認め 全力、協力、努力する子	
4年	互いのよさを認め 自身を持って 何事にも すずんでチャレンジする子	
5年	自分の想いを発信し、仲間の想いに寄りそえる集団	
6年	仲間と共に 意欲的に 主体的に取り組む子	
ひまわり	なかよく 元気に がんばる子	
音楽	歌って 奏でて 伝えよう ～自分の思いを持って～	
図工	一人一人の良さを認め合い 自分に自信を持って心いっぱい表現しよう!	
保健	こころも からだも 元気な子	

1. 分かる授業・楽しい学校

【三つの「いっぱい」】

① やる気いっぱい

☆「生きる力」のもとになる『意識改革』

- 自尊感情を高める
 - 自主的、意欲的に取り組める課題、「主役」になる場の設定
 - 自分で考え、解決する力を身につけさせるための、力の限り頑張った経験と達成感・成就感の重視

☆「生きる力」の基礎基本となる学習内容の定着
☆「確かな学力」の育成

- 個に応じた指導の充実
 - 少人数指導、複数指導など、多様な指導方法の研究
 - 家庭学習の充実
 - 補充学習（**計算タイム**・放課後学習会）の充実
- 学力向上をめざした授業改善

② やさしさいっぱい

☆規律と友情のある良好な人間関係、人間形成を図る

- 仲間づくり・学級集団づくり
- 高め合う集団の育成
 - 互いのよさを認め合い、伝え合う活動
 - 正しいことは正しい、いけないことはいけないと言える、鍛え合う仲間づくりを進める学級経営
- 全ての命あるものを大切にいとおしむ心の育成
- コミュニケーション能力の育成
 - 自己表現力の育成と場の設定

③ 元気いっぱい

☆言葉と体験を重視した授業と指導

- 基本的な生活習慣の確立
 - あいさつ運動の推進
 - 「**あ**かるく**い**つも**さ**きに**く**づけておじぎ」の指導
 - 「返事、話す、聞く」の指導
- 規範意識の徹底
- 体力向上、健康増進に向けての日常的な取組の推進
 - 体育指導の充実
 - 新体力テストの実施
 - 外遊び、汗かきタイムによる体力向上

2. 情報発信する学校

【PDCAサイクルによる学校評価】

☆学校評価を生かした学校づくり

① 学校だより・学年だより・ホームページの充実

- 学校情報の積極的な発信
 - 学校ホームページのタイムリーな更新
 - 何をどのように発信するのか意図を明確にした学校・学年・学級だよりの作成

② 学校自己評価の推進

- 全教職員による学校自己評価の推進
 - 前期（7月）・後期（2月）の自己評価評価内容の公表

③ 学校関係者評価・外部評価の推進

- アンケートによる児童・保護者・地域からの評価
 - 保護者・地域は年2回実施（6月・1月の学校公開時）
 - 学校だより（臨時号）での結果報告
 - 児童は、一つの単元終了時や行事終了後適宜

④ 学校評議員制度の積極的活用

- 学校評議員による学校評価
 - 日常的な学校観察・授業公開
- 評議員の意見を反映させる学校運営
 - 評議委員会での話題を学校だより等で発信

3. 家庭・地域・学校の連携

【小規模校ならではの連携】

① 家庭・地域と連携した基本的な生活習慣の確立

- 家庭への啓発活動
 - 学校公開、学校・学年・学級だより
- 近隣校間の連携
 - 情報交換・共有
 - 中学校ALTの活用
- 「学校の学び」と「家庭の学び」をつなぐ家庭学習の推進
 - 手びき・カードの活用、重点実施期間の工夫

② 保護者とつくる教育内容

- ふれあい活動
- ブックママの活動（読み聞かせボランティア）
- 保護者の学習支援活動
- ゲストティーチャー等外部人材の積極的な活用

③ 安全・安心の学校づくり

- 地域諸団体との連携
- 登下校の見守り活動
- 継続的な集団登校指導

4. 教育・学習環境の改善

【学校の組織力・教員の力量を高める】

① 全教職員で組織的に全児童を指導

- 児童理解に基づく指導体制
 - 日常的な情報交換（LTCの活用）
- 隣接学年での打ち合わせ
 - 単級のデメリットを緩和
- 全職員相互の協働体制
 - 教職員自身の自尊感情を高める
 - 明るく、仲良く、風通しの良い職場

② 授業力・学級経営力の向上

- 全員授業による研修の充実
 - 教師間の授業公開の日常化
- 大学との連携による家庭学習の取組
 - 兵庫教育大学